引用文献

坂東正康 (1990)紫外線と白内障、白内障診療ガイド、45:43-51

坂東正康(1994) 紫外線と白内障、太陽紫外線防御研究委員会学術報告、4(1):27-36

エルンスト・U. フォン・ワイツゼッカー(1995)地球環境政策　地球サミットから環境の 21 世紀へ：58-64

福岡伸一、伊東岳史、柳澤潤一、鷲見治一(2000) 太陽紫外線強度とオゾン全量　湘南工科大学紀要、34(1)：39-46

G.Verriest (1963) Further Studies on Acquired Deficiency of Color Discrimination、Journal of the Optical Society of America、53(1)：185-195

G.Verriest、J.V.Laethem、A.Uvijls(1982) A New Assessment of the Normal Ranges of the Farnsworth-Munsell 100-Hue Test Scores、American Journal of Ophthalmology、93(5)： 635-642

原田昌幸、村若亮憲、久野覚(2002)加齢による黄変化と色識別性に関する研究　日本建築学会近畿支部研究報告集：253-256

東堯　新版色彩科学ハンドブック【第 2 版】、日本色彩学会編:69-85

本田孔士(2009)目でみる眼疾患、文光堂：222-223

池田光男、池田幾子(1995)目の老いを考える、平凡社

今中利信、廣瀬良樹(2007)環境・エネルギー・健康 20 講―これだけは知ってほしい科学の知識、化学同人：86-91

石田泰一郎(2004)照明と色の知覚、照明学会誌、88(3) ：134-137

石原恵子、長町三生、大崎紘一、石原茂和、辻昭雄(1998)加齢に伴う水晶体黄変化による日常生活への影響、人間工学、34(1):9-16

伊藤慎吾、近藤健雄、山本和清(2005)漁業作業中の紫外線被曝量、日本建築学会大会学術講演梗概集：415‐416

伊藤朋之(1994)オゾン層破壊と太陽紫外線、太陽紫外線防御研究委員会学術報告、4(1)：91-112

岩田三千子(2004)高齢者の視覚と色彩、照明学会誌、88(1):34-36

岩田三千子(2007)光環境からみた安全性、ジェロントロジーニューホライズン、19(4):269-272

岩田利枝、上野佳奈子、高橋達、二宮秀與、光田恵、吉澤望(2008)生活環境学：80-81

岩坂泰信(2003)大気環境学：20

J.F.Leach et al. (1978) Measurement of ultraviolet doses received by office workers、Clinical and Experimental Dermatology、(3):77-79

ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社(2004)目と紫外線に関する意識調査

加來卯子、庄山茂子、小渕信幸、栃原裕(2009)紫外線に対する意識とサングラス装着の実態、人間と生活環境、15(2):47-53

加來卯子、庄山茂子、小渕信幸、栃原裕(2009)サングラス装着時における若齢女性の色彩弁別能力　人間と生活環境 16(1) : 19-25

加來卯子、庄山茂子、小渕信幸、栃原裕(2009)サングラス装着時における高齢女性の色彩弁別能力　人間と生活環境 16(2) : 77-83

金谷末子、宮前あつ子(1989)高齢化社会と視環境、人間工学 25(3):163-167

加藤真由美(2004)月刊総合ケア 14(6):42-43

環境省地球環境局(2009)平成 21 年度オゾン層等の監視結果に関する年次報告ホームページ、http:/www.env.go.jp/

加藤雪枝、石原久代、中川早苗、橋本令子他(2001)新版 生活の色彩学、朝倉書店:23-26

川口順子、大下美紀、團野哲也、庄山茂子、栃原裕(2005) 100 hue test による高齢者の色彩弁別能力、日本生理人類学会誌、10(1) :1-7

川口順子、庄山茂子、栃原裕、團野哲也(2005) 100 hue test による高齢者と若齢者の色彩弁別能力の比較、日本生理人類学会誌、10(3):9-16

川島幸夫(1993)高齢者に好発する眼疾患と眼科手術療法、川崎医療福祉学会誌、3(1):35-40

気象庁(2006)オゾン層観測報告 2005：44-53

小島正美(2003)紫外線による眼の傷害について、臨床スポーツ医学、20(9)：1083-1090

小島正美(2005)紫外線が及ぼす眼への影響とその対策、セイフティダイジェスト、51(7)：2-6

国土交通省　気象庁　http://www.jma.go.jp

高齢社会白書(2010)高齢化の状況及び高齢社会対策の実施状況：2-5

栗木一郎、石井渉、内川惠二(2000)加齢による水晶体黄変が色覚におよぼす効果、照明学会誌、84(2):107-116

毎日新聞：子どももサングラスを、2009年5月3日　東京朝刊

松井英一郎、松島博之、松本佳浩、妹尾正(2008)加齢と眼疾患、Dokkyo Journal of Medical Sciences、35(3)：251-258

三津野真澄、小野雅司(2001)高校生の紫外線に対する意識調査と紫外線生活暴露量調査、環境教育、11(2)：64-72

森礼於　新版色彩科学ハンドブック【第2版】、日本色彩学会編:510-511

日本色研事業株式会社、100 hue test 日本色研 100色相配列検査器(ND-100)、取扱説明書

二宮洸三(1999)気象と地球の環境科学：111-130

小浜明子(2008)白内障疑似体験ゴーグルの開発、日本色彩学会誌、32(1):49-53

及川紀久雄、北野大(2005)人間・環境・安全―くらしの安全科学―、共立出版株式会社:201-209

小口芳久(2001)高齢者によくみる眼科病変、診断と治療、89(8):116-120

大中忠勝 (1993)紫外線とその健康影響、Ann.Physiol.Anthrop.、12(1):1-10

岡嶋克典(1999)高齢者の視覚特性と照明視環境に関する研究動向 照明学会誌 83(8B): 594-596

岡嶋克典(2008)高齢者色覚シミュレーションの理論と実際 日本色彩学会誌 32(1) :044-048

Ono M (2002) Studies on ultraviolet radiation and health effect:Ocular exposure to ultraviolet radiation. In Progress in lens and cataract research Eds. Hockwin O et al. Dev Ophthalmol. Basel,Karger,35 :32-39

小野雅司(2008)地表に届く紫外線 チャイルドヘルス 11(5):312-316

大平明弘(2009)太陽紫外線が及ぼす眼の疾患 環境と健康 22(4):419-427

太田千香子、原直也、野口太郎(2002)色順応の差異が有彩色の知覚に及ぼす影響、日本建築学会近畿支部研究報告集:69-72

オゾン層の破壊―過去・現在・未来―：国立環境研究所

佐々木洋(2007)眼部紫外線総被曝量と翼状片有所見率に関する研究―気象条件の異なる地域における眼疫学調査から―、金沢大学十全医学会雑誌、116(1)：28-29

Sasaki.K et al.(1999)Epidemiology studies on UV-related cataract in climatically deferent countries.J.Epidemiol、9：33-38

佐々木政子、上出良一(2008)知って防ごう有害紫外線、少年写真新聞社：17-34

佐藤千穂(1998)加齢に伴う色の見えの変化、照明学会誌、82(8A)：530-537

関口理郎(2006)成層圏オゾンが生物を守る：122-153

紫外線保健指導マニュアル編集委員会(2006)紫外線保健指導マニュアル、環境省環境保健部環境安全課：2-23

庄山茂子、川口順子、栃原裕(2007)虹彩色の異なる2群間における紫外線に対する意識とサングラスの使用頻度別色の弁別能力、人間と生活環境、14(2)：55-62

庄山茂子、川口順子、栃原裕(2007)虹彩色の異なる2群間における色の見えの差異、日本生理人類学会誌、12(2)：49-55

総務省統計局　高齢者人口の現状と将来　http://www.stat.go.jp

鈴村、田辺、臼井(1986)老人の視野と色覚、眼科 MOOK 老人と目、29：25-35

田口哲(2006)紫外線の害ってなあに(2)紫外線の健康への影響について、90（9）：694-698

高橋洋子(2002)視機能の加齢と抗加齢、あたらしい眼科、19(7):839-843

高岡紀子、松原正男(2006)高齢者の眼の特徴―眼の老化―、Geriatric Medicine、44(9):1215-1219

地球環境研究会編(2008)五訂地球環境キーワード事典、中央法規出版株式会社：34-39

戸張幾生(1986)高齢化社会と眼科医療、眼科 MOOK 老人と目、29:252-256

冨川節子(2005)眼の加齢変化、(財)博慈会老人病院研究所紀要、14:27-31

鵜飼一彦(1996)高齢者の視覚、照明学会誌、80(7) ：463-466

World Health Organization(2002) An educational tool to reduce risks of skin cancer and cataract 、Global solar UV index、Fact Sheet 271

World Health Organization (2002) Skin Cancer and Cataract、SEARO NEWS、XLII(16)

矢野正、下村容子、橋本健次郎、金谷末子(1993)高齢者の色識別性―光色との関係―、日本色彩学会誌、17(2):107-118

矢野正(2007)見え方の色色、照明学会誌、91(10):638-644

吉田あこ、橋本公克(1992)高齢者の色彩誤認の実態調査―その１―、―その２―、日本建築学会大会学術講演梗概集:949-952

吉田あこ、平根孝光、桜庭晶子、今井計(1993)加齢別視界黄変による色彩変化―その１―、―その２―、日本建築学会大会学術講演梗概集：959-962

吉田あこ、桜庭晶子(1996)高齢者の色覚　視界黄変化の実態とシミュレーション、カラーフォーラム JAPAN‘96：79-86

吉田あこ(1997)加齢に伴う色彩誤認、建築雑誌、112(11)：54